



2026年3月期（第50期） 第1四半期決算補足説明資料 （ First quarter of FY2026 | 50th Business Year）

2025年8月8日
株式会社フォーカスシステムズ
（証券コード：4662）

- 1 第1四半期 決算サマリー P. 3～
- 2 セグメント別概況 P. 5～
- 3 財務状況等 P. 9～
- 4 業績・配当予想－2026年3月期（第50期）－ P. 11

売上高・各利益共に、過去最高を更新
中期経営計画で収益性向上を掲げる中、人的資本投資を進めた上で、
高収益案件の増加・価格転嫁・業務効率化等により確実に収益を獲得

(単位：百万円)

	第1四半期			
	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率
売上高	7,998	8,507	508	6.4%
営業利益	323	864	540	167.0%
経常利益	335	877	541	161.4%
四半期純利益	229	659	430	187.7%

進捗は、売上高約25%、各利益約32～35%と好調なスタート

- ・収益性重視の事業展開と価格交渉が奏功。
- ・リスク管理・足元の受注環境は良好。
- ・成長への種まきに更に注力し、過去最高の売上高・利益を目指す。

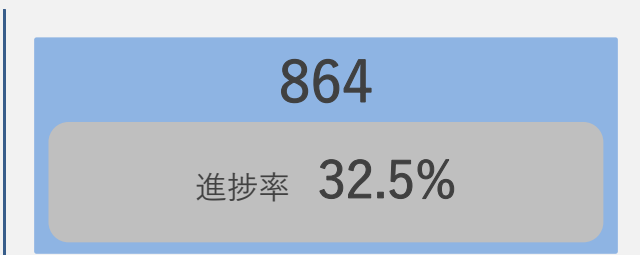
(単位：百万円)

売上高



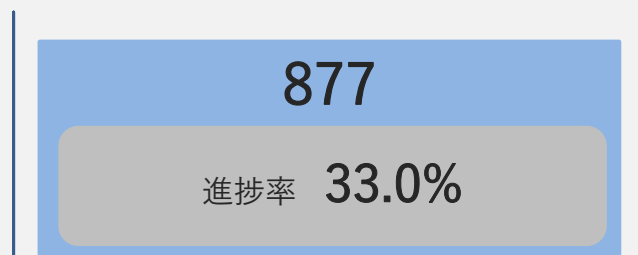
Q1

営業利益



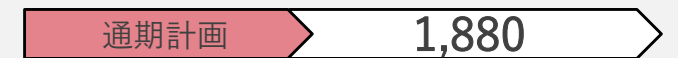
Q1

経常利益



Q1

四半期純利益

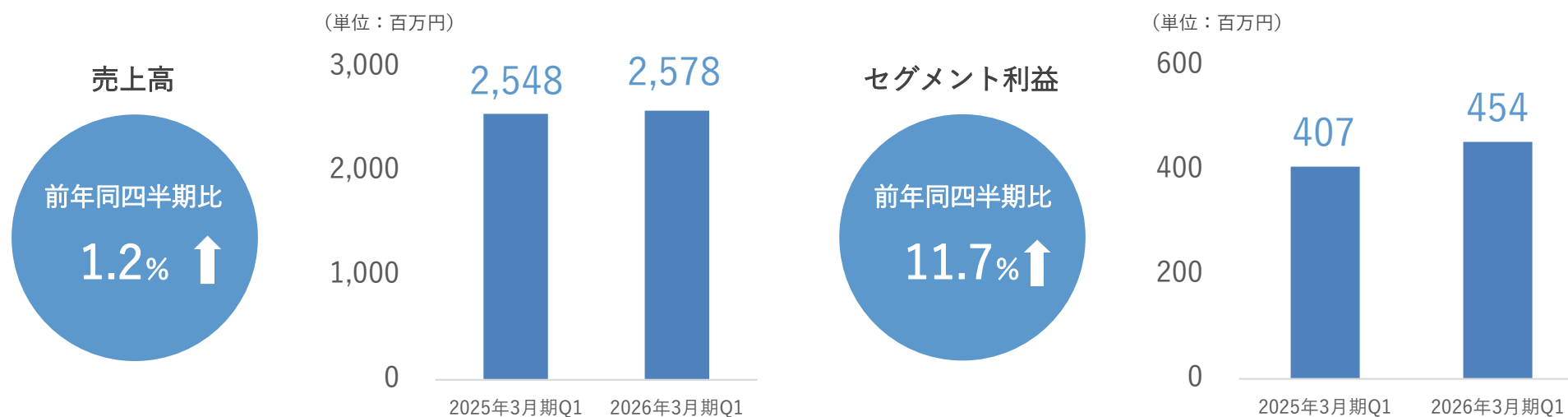


Q1

公共関連

主に官公庁及び地方自治体を最終ユーザーとする社会インフラ基盤に係るシステムの設計・製造、システム稼動後の運用・保守

事業全体における順調なプロジェクト進行と価格転嫁により、増収増益。

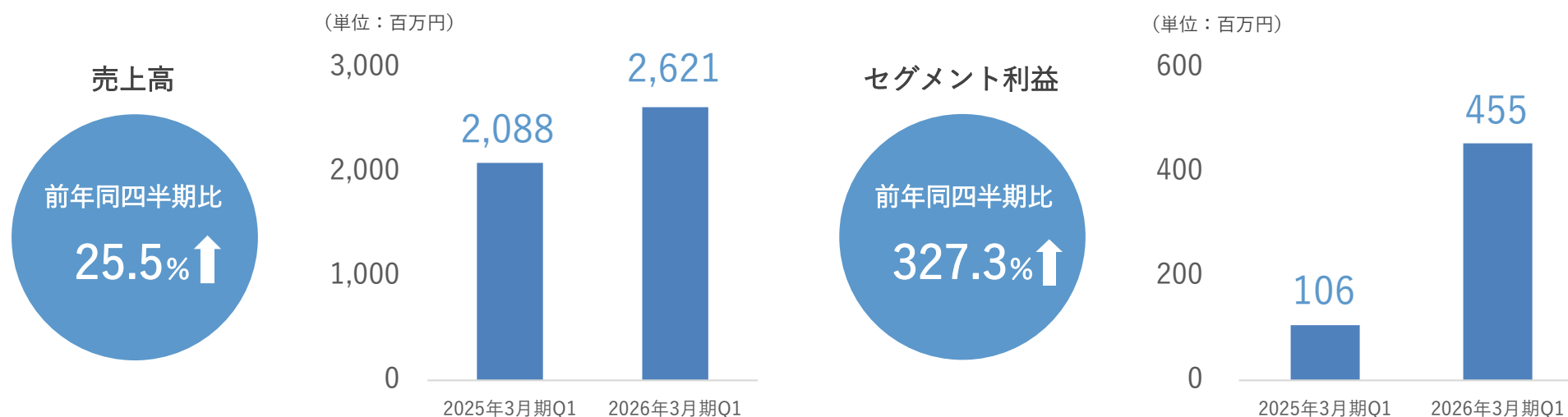


- ・ 社会保障関連、自動車関連、医療関連が成長をけん引。
- ・ eLTAXはライフサイクルに伴い一時的にピークアウト。マイナンバー関連は堅調に推移。

エンタープライズ

主に法人企業の基幹業務システム・Webシステムの開発、ネットワーク・インフラの設計・構築、RPAソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング

前年同四半期に生じた低採算案件の反動増とアップセル効果により、増収増益

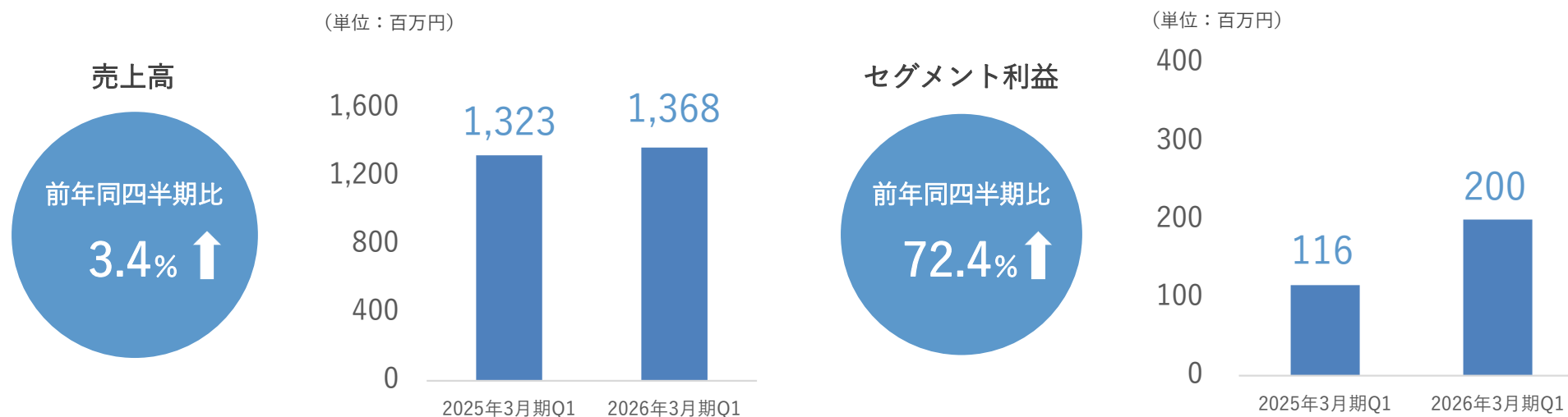


- ・ 主力製品（intra-mart、Biz f）のSI案件が引続き利益率向上に貢献。
- ・ インフラでは案件毎に差異はあるものの、既存顧客からの新規受注が利益に寄与し、全体は堅調。

広域ソリューション

主に東京・名古屋・大阪地域における、通信制御システム開発、組込みシステム開発、民間企業・行政機関向けシステム開発、AIソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング

高収益性案件へのシフトと原価上昇分の価格転嫁が奏功し、増収増益

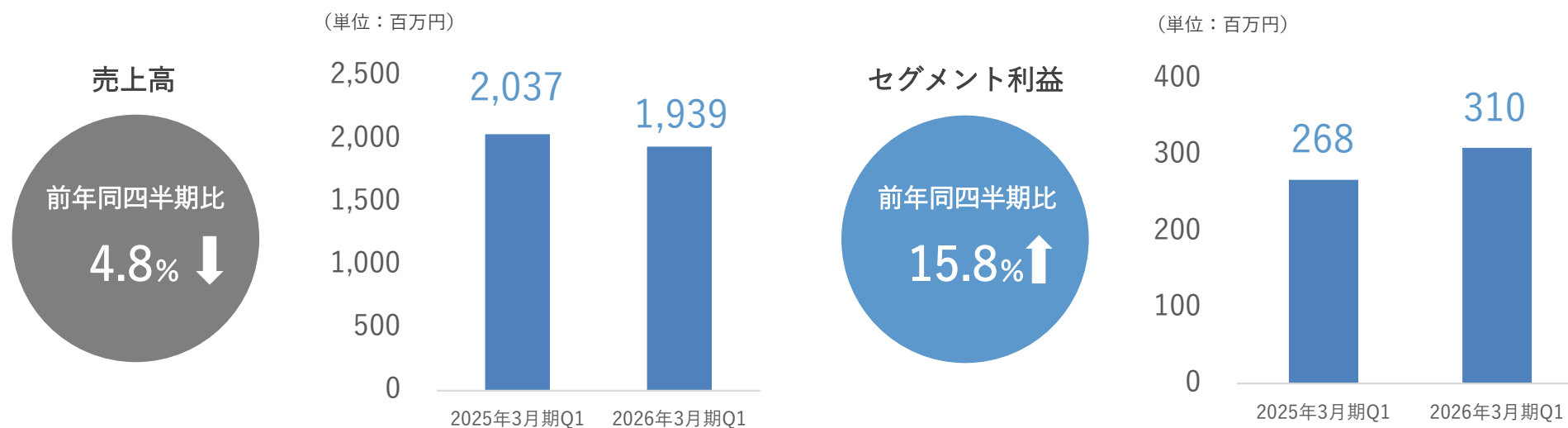


- ・ 一次請け開発案件の獲得を図りつつも、当第1四半期は既存案件が利益率向上に大きく寄与
- ・ 組込み・通信は横ばいで推移。

イノベーション

主にインフラ基盤設計・構築、メインフレーム構築、システム開発、付随する運用・保守、自社製品の製造、IoTソリューションの提供

インフラが堅調に推移する中、一次請け開発案件が利益に貢献し、減収増益



- ・ 収益性重視の事業展開により売上高減少も、一次請け開発案件が増加し利益率が改善。
- ・ 自社製品関連は開発・品質向上を進める中、前年同四半期比微増で推移。引き合いは増加傾向。

(単位：百万円)

	前事業年度	当第1四半期会計期間
(資産の部)		
流動資産	13,584	14,469
固定資産	7,308	7,454
有形固定資産	3,505	3,492
無形固定資産	48	39
投資その他の資産	3,754	3,921
資産合計	20,893	21,923
(負債の部)		
流動負債	5,906	6,834
固定負債	938	826
負債合計	6,845	7,660
(純資産の部)		
株主資本	12,751	12,866
資本金	2,905	2,905
資本剰余金	2,188	2,188
利益剰余金	7,996	8,111
自己株式	△339	△339
評価・換算差額等	1,296	1,397
純資産合計	14,047	14,263
負債純資産合計	20,893	21,923

前事業年度末と比較し1,030百万円増加

(主な増加理由)

・現金及び預金の増加	1,870百万円
・投資有価証券の増加	139百万円
・前払費用の増加	108百万円
・仕掛品の増加	17百万円

(主な減少理由)

・売掛金及び契約資産の減少	1,084百万円
---------------	----------

前事業年度末と比較し814百万円増加

(主な増加理由)

・賞与引当金の増加	575百万円
・未払配当金の増加	501百万円
・短期借入金の増加	389百万円

(主な減少理由)

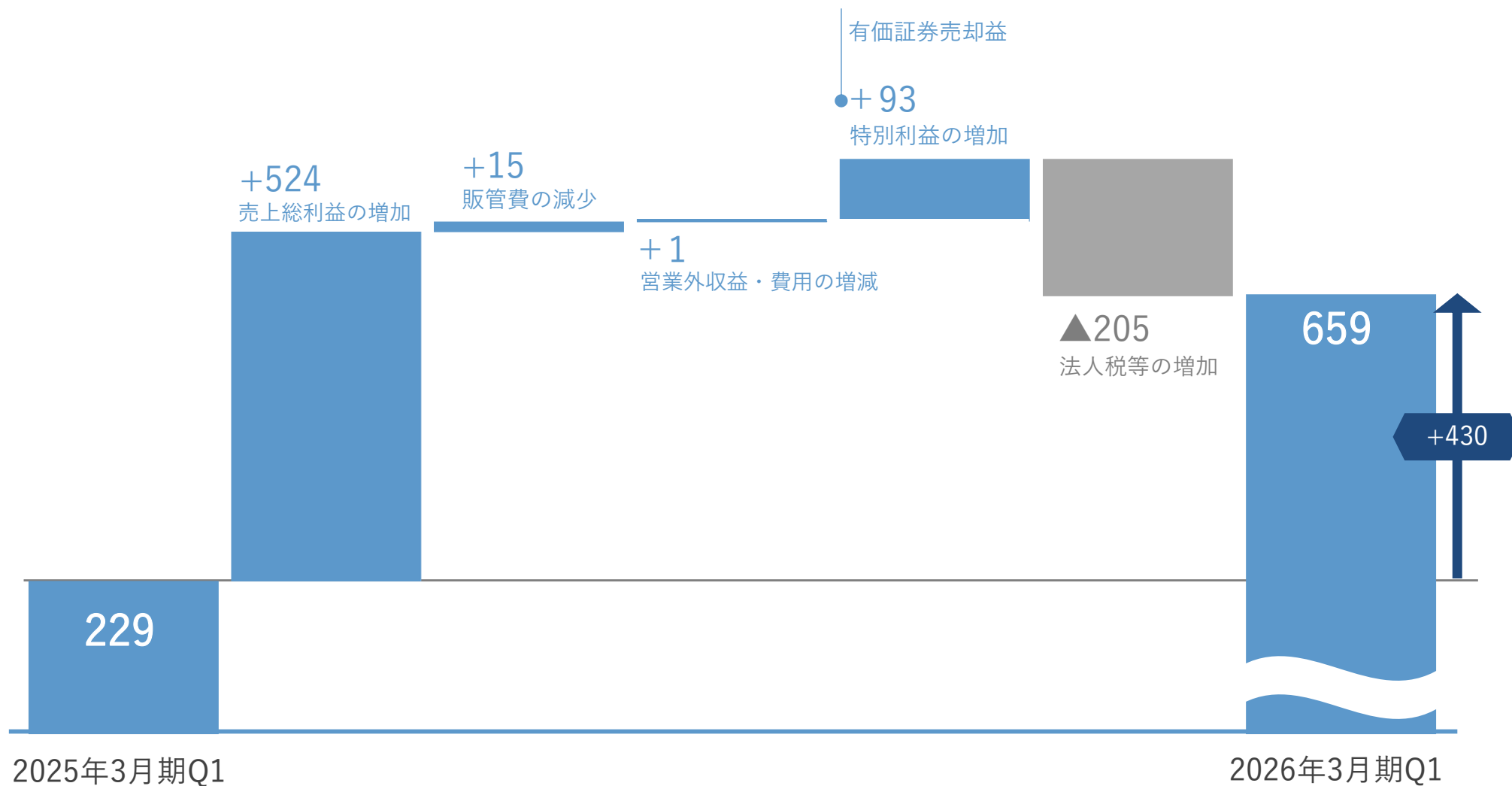
・未払消費税等の減少	207百万円
・未払金の減少	195百万円
・長期借入金の減少	156百万円
・買掛金の減少	95百万円

前事業年度末と比較し216百万円増加

(主な増加理由)

・繰越利益剰余金の増加	115百万円
・その他有価証券評価差額金の増加	100百万円

(単位：百万円)



過去最高の売上・利益を更新する計画

1株当たり年間配当金は54.00円の見込み ※前回予想より4.00円増配（中間+2.00円、期末+2.00円）

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減率
売上高 (百万円)	32,555	33,250	2.1%
営業利益 (百万円)	2,171	2,660	22.5%
経常利益 (百万円)	2,164	2,660	22.9%
当期純利益 (百万円)	1,566	1,880	20.0%

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想
1株当たり当期純利益 (円)	103.67	124.30
1株当たり配当金 (円)	<div> <div>42.00</div> <div> (内訳) 中間配当 6.00 期末配当 36.00 </div> </div>	<div> <div>54.00</div> <div> (内訳) 中間配当 12.00 期末配当 42.00 </div> </div>
配当性向 (%)	40.2	43.4

今後とも、ご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



テクノロジーに、ハートを込めて。

本資料において、値は小数点以下切捨、割合は小数点第二位で四捨五入としております。

- 本資料は、2025年8月8日現在で入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る2025年8月8日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。従いまして、当社として、その確実性を保証するものではありません。